

職層研修「新任研修（記念講演）」

【実施日時】	4月8日（水） 14：20～16：30
【研修会場】	大田区総合体育館(EBARA WAVE アリーナおおた)（大田区東蒲田 1-11-1）
【受講決定者数】	2,119名
【研修内容】	<p>講義1 自治体職員の持つ可能性</p>  <p>講師 特別区長会会長・新宿区長 吉住 健一 氏</p> <p>講義2 取材現場から見た外国人と日本社会 ～人生と制度のはざまにある実情～</p>  <p>講師 ジャーナリスト 室橋 裕和 氏</p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・本講演では、特別区という自治体職員の使命や果たすべきこと、私たちができることについて、いくつかの実例や視点からお話をいただきました。どの話においても、これから基礎自治体職員として働く上で、マニュアル通りにこなすのではない、自治体職員が持っている可能性とその醍醐味について学ぶことができました。 ・新宿区長の講話を通じて、区民の方々への対応にあたっては、一つの部署だけでなく、複数の部署が連携して取り組むことの重要性を学びました。区が抱えるさまざまな課題は、一つの部署のみで解決することが難しいため、今後は横の連携を密に図ることを意識して、業務に取り組んでいきた

	<p>いと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 日本は多文化共生社会が進んできているため、区の職員としてその人を知っていくことが大切であり、そのためにはコミュニケーションを取っていくことが大切だと気づきました。• 公務員とは区民が暮らす社会を支える大切な仕事であり、多文化共生の前線を担う一員であることを学びました。近年、在日外国人は増加傾向にあり、日本人と外国人の共生のために、固定観念を払い、お互いの歩み寄る姿勢が大切であると感じました。
--	---